

横浜港とハンブルク港が姉妹港締結 25 周年を迎えました！

～ハンブルク港湾公社 最高財務責任者が来浜します！～

横浜港は、ドイツ・ハンブルク港との間で、平成 4 年（1992 年）に姉妹港を締結して以来、研修員や代表団の相互派遣等を通じて交流をしてきており、今年で 25 周年を迎えました。

このたび、ハンブルク港湾公社の最高財務責任者ほか 3 名のハンブルク市・港湾関係者が横浜港に来訪されることになりました。この機会に、横浜港で取り組む港湾プロジェクトを紹介し、港湾局長と意見交換を行います。

1 訪問スケジュール

(1) 日時：平成 29 年 12 月 4 日（月）15:00～17:00

15:00～16:00	横浜港内見学	港務艇「おおとり」
16:15～17:00	局長意見交換	港湾局 6 階応接室 (中区山下町 2 産業貿易センタービル 6 階)

※局長面会では、姉妹港提携 25 周年を記念して、記念品を贈与します。

(2) 参加者

Tino Klemm – Chief Finance Officer, Hamburg Port Authority

(ティノ クレム：ハンブルク港湾公社 最高財務責任者)

Lutz Birke – Head of Port Estate and Maritime Affairs, Hamburg Port Authority

(ルッツ ビルケ 海事及び港湾管財 代表)

Dr. Torsten Sevecke – Director, Ministry of Economic Affairs, City of Hamburg

(トーステン セベック ハンブルク市経済部門 部長)

Lars Anke - Chief Representative Hamburg Liaison Office, Shanghai

(ラース アンケ：上海ハンブルク代表事務所 事務所代表)

(3) 取材について

局長面会は、冒頭取材可能です。

取材を希望される場合、事前にお申込みの上、直接会場にお越してください。

【申込先】横浜市港湾局賑わい振興課

Eメール kw-nigiwaishinko@city.yokohama.jp 電話：045-671-7188

【申込確認事項】社名、人数、連絡先、カメラの有無（ムービー、スチール）を記入

※取材申込期限：平成 29 年 12 月 4 日（月）12:00 まで

※写真の提供を希望される方は、港湾局賑わい振興課までご連絡ください。

2 ドイツ・ハンブルク港について



ドイツ北部のエルベ川の下流に位置する河川港であり、ドイツで最大のコンテナ港です。1189年にドイツ皇帝から関税免除の自由都市としての特権を受けて以来の貿易港であり、800年以上の歴史を誇っています。

国際貿易港としての横浜港を一層発展させるため、環太平洋地域だけでなく欧州の港とも交流を図る必要から、1992年10月27日、優れた施設と歴史を持つハンブルク港と姉妹港提携を行いました。

2005年10月からは、ハンブルク港はハンブルク市に代わって、ハンブルク市が100%出資し設立したハンブルク港湾公社（Hamburg Port Authority）が管理・運営を行っています。



3 これまでの交流について

ほぼ、隔年で実施している職員派遣を中心とした交流事業では、これまでハンブルク港から9人の研修員を受け入れ、横浜港からは、11人の研修員を派遣してきました。（今年度受入含む）

今年度は、平成4年（1992年）に姉妹港を締結してから、ハンブルク港と提携25周年にあたり、新たな取組として、ハンブルク港からの交流職員受入の年にあたる機会を捉えて、貿易協力港メルボルン港（オーストラリア）にも呼びかけ、横浜港において、ワークショップを開催しました。

“Port Challenges for the 21st Century（21世紀に向けた港湾の課題）”と題し、各港に共通する港湾の抱える課題3つをテーマとして選び、横浜港の事例の共有やハンブルク港とメルボルン港の事例の紹介を中心としたワークショップを開催し、ハンブルク港、メルボルン港から各代表が1名と横浜港の職員が述べ32名参加しました。

（受入期間：平成29年10月10日（火）～13日（金）うちワークショップは11日～13日）



お問合せ先

港湾局賑わい振興課長

有路 益義 Tel 045-671-2874